



出演者プロフィール



阿部一成

Atoa.
(左)高橋亮(右)高橋勲雄

竹繁文章



桧獅子舞保存会



鴨島鳳翔太鼓



高橋宏徳



亀本美砂



粟田美佐



小川典子



川真田加穂里



武田仁美

阿部一成・篠笛

愛媛生まれ、東京に育つ。和太鼓集団『鼓童』に14年間在籍の後、独立。生まれ故郷の愛媛県新居浜市を拠点に、ベルギーの振付家シディ・ラルビ・シェルカウイ氏や、人間国宝の親世流能楽師・津村禮次郎氏など、国内外の様々なアーティストとの共演を重ねている。これまでに世界30ヶ国で演奏。

Atoa. 和太鼓

東日本大震災を受け、世界中で活動していた「鼓童」を離れ、高橋兄弟は地元仙台へ戻り「Atoa.」を結成。新メンバーに阿部裕哉・木村直広を迎え、2016年、演出家野田秀樹氏の元、六本木ヒルズアリーナで公演、また東京スカパラダイスオーケストラとのコラボレーション公演など、全国各地で活躍中。

竹繁文章・津軽三味線

1980年吉野川市山川町生まれ。三絃小田島流家元、二代目小田島徳旺に師事。2014年より三絃小田島流名取、小田島旺琉として県内、外で活動している。14年、15年、津軽三味線全国大会一般男性の部入賞。

桧獅子舞保存会・獅子舞

400年余りの伝統を持ち、豊作、家内安全を祈願し、「阿波一の宮・大麻比古神社」に奉納したことが始まりで、現在130人の会員を持つ。2013年、伊勢神宮で、20年に一度の式年遷宮に獅子舞を奉納。

鴨島鳳翔太鼓+鳳翔童太鼓かわせみ・和太鼓

鴨島鳳翔太鼓は、1990年「ふるさと創生事業」の一環として、吉野川市鴨島町に誕生し、メンバーは、善通寺龍神太鼓創設者・石井響宇山(いしいきょうざん)氏に師事。2010年には新潟・佐渡の鼓童とも和太鼓の競演を果たしたり、精力的に活動している。

高橋宏徳・剣舞

名西郡神山町出身。5歳の頃、祖母の影響で吟剣詩舞を始め、揚心流日本朗詠会に所属。2015年10月、日本コロムビア全国剣詩舞コンクールにて優勝。

亀本美砂・インド古典舞踊・天和神楽(あわかぐら)

自然とつながるころの世界をインド古典舞踊や天和神楽で舞う。これまでネイティブアメリカン長老やアラスカ先住民の語り部などと共に、いのちの舞手を務める。主な著書に『魂の目覚め』(研究所1998)、『神心(かみぐる)』(太陽出版2002、2005)など。

粟田美佐・ピアノ

国立音楽大学卒業。シュトゥットガルト音楽大学大学院ピアノ専攻終了後、同大学院専攻科を経て、トロツィンゲン音楽大学大学院室内楽専攻終了。平成15年度(財)徳島県文化協会主催第10回芸術文化奨励賞を受賞。

小川典子・ソプラノ

相愛大学音楽学部声楽学科を首席で卒業。同大学研究科修了。イタリア国立ヴェネツィア音楽院声楽学科修士課程修了。

川真田加穂里・ソプラノ

国立音楽大学声楽学科卒業。二期会オペラスタジオ本科修了。二期会合唱団としてオペラ公演等に出演。東京二期会会員。

武田仁美・ソプラノ

国立音楽大学声楽学科卒業。同大学院オペラ科修了。イタリア・ピアチェンツァ・ジュゼッペ・ニコリーニ国立音楽院卒業。イタリアのフィデンツァとパルマではモーツァルト「レクイエム」のソリストを務め、若いタレント賞を受賞。東京二期会会員。

プロジェクトあい 徳島県下の女性が東北の被災者の女性と痛みを分かち合うなかで、自分一人の力は微力でも、「東北のために自分も何かさせてもらいたい」という一人一人の思いを結集すれば、ある程度の支援ができるのではないかと周りの方々に呼びかけはじめたところ、県内外のアーティスト、工芸家、文化人、大学生など、篤志の方々が「声をかけてくれてありがとう。自分も何かさせてもらいたいと思っていた」と善意の輪が広がり、当プロジェクトが立ち上げられた。 <http://daichi.somosan.com/>

東北応援・プロジェクトあい・チャリティー公演

大地のうた⁷ -原点-

出演 阿部一成(篠笛) Atoa.(和太鼓) 竹繁文章(津軽三味線) 高橋宏徳・高橋英誠(剣舞)
武田仁美・小川典子・川真田加穂里(ソプラノ) 粟田美佐(ピアノ)
桧獅子舞保存会(獅子舞) 鴨島鳳翔太鼓(和太鼓) 亀本美砂(インド古典舞踊・天和神楽)

